



沢島 ひでたか通信 Vol.20

公明党が推進してきた「渋谷区子育てネウボラ」がついにプレスタート!!

**高齢者の健康・介護もさらに前進！
避難所のスマホ充電機配備を提案！**

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和元年6月6日(趣意)

子育て支援

渋谷区子育てネウボラについて

質問 私ども公明党が2年間、機会あるごとに提案をしてきた「ネウボラ」が、5月20日美竹第二庁舎でプレスタートされました。

健康推進部、子ども家庭部、教育振興部の3つの部から関連の所管をチームネウボラとして結成したわけですが、ネウボラは3つの部署からの出先機関の集合になるのか、あるいはセクションとしてのネウボラは今後可能なのか、区長のお考えをお聞かせください。

答弁(区長) 現在、妊娠・出産から乳幼児期の相談支援は保健所が、その後の子どもの成長に伴う様々な悩みは、発達段階に応じて、子ども発達相談センターや、子ども家庭支援センター、教育相談がそれぞれ連携しながら相談支援を行っています。

今後は、根幹となる母子保健情報システム化による組織を横断した情報共有も予定しており、令和3年度の神南分庁舎跡地複合施設完成までに、ネウボラ運営にか

かる課題を整理しながら、準備室の立ち上げなど、組織の構成も含めて、将来的な「渋谷区子育てネウボラ」の在り方について検討してまいります。

質問 人材確保と、育成研修はネウボラの要と言えます。渋谷での研修はもちろんのこと、フィンランドへの派遣研修は必須と考えます。

答弁(区長) ネウボラの本場フィンランドで保健師との交流や、研修を実施することは、非常に良い経験になると考えており、今後、施策を構築する中で、実施を検討してまいります。



教育

熱中症対策について

質問 小中学校の体育館へのエアコン設置が夏前までに完了することになりました。

施設開放などで体育館を使用する団体等に熱中症対策のため、有料でも良いのでエアコンの利用のルールを作って欲しいのです。

答弁(教育長) 学校施設における空調機器の使用について、受益者負担を視野に入れて、より快適な施設利用が出来るように空調機器使用のルールの策定を検討してまいります。

質問 小中学校へのウォークラリーの増設、また、老朽化したウォークラリーの交換をお願いします。

答弁(教育長) 各校におけるウォークラリーの設置台数を増やすことや老朽化したものの交換については、学校の状況を踏まえ、適切に対応してまいります。

情報モラル教育について

質問 いずれ子供達はスマートフォンを持つようになり、また既に自分のスマホを持っている子もいます。

インターネットの何が便利で何が脅威となるのか、そしてネットのルールを理解し、正しい情報を利用することが出来る能力を身に着ける事

は必要不可欠です。
ネットリテラシーを育む、「情報モラル教育」の現状を伺います。

答弁(教育長) 渋谷区教育委員会では、児童・生徒がはじめ等のトラブルに巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、「スマートフォン・SNSしじぶやルール」を策定しています。

また、各学校は、「午後9時以降はSNSを利用しない」「送信前に読み返し、相手の気持ちを考える」から送信するなどの「SNS学校ルール」を定めており、指導方針の共通理解・周知徹底を図り、児童・生徒に指導を行っております。

今後さらに、ICT担当者等を対象に研修を充実させ、道徳や家庭科などの教科学習の中で指導事例を周知するなど、情報モラル教育を一層進めてまいります。



福祉・健康

フレイル予防について

質問 昨年、公明党が提案させていただいた「フレイル予防」。

「栄養」「運動」「社会参加」を推進しフレイル(老い)を予防する取り組みは、確かな統計データから

注目をされています。

フレイルチエック講習会を元気に研修を受けた高齢者が、さらに高齢者を対象に行う、これは双方「社会参加」につながる取り組みとなります。この取り組みを、シニアクラブなどに委託されてはいいかがでしょうか。

答弁(区長) 貴会派ご提案の高齢者自身が高齢者を対象に行うフレイル予防の取り組みにつきまして、高齢者の中からそうした支援の担い手を育てていくにあたって、まずは「フレイル」という言葉、そしてフレイル予防のため必要とされる3つの柱である「栄養・運動・社会参加」の重要性等について、高齢者の方への普及啓発が必要であると考えています。

今年度は、フレイル予防の普及啓発のためのイベントを実施する予定であり、さらにフレイルチエックなどを通じて高齢者の間にフレイル予防に取り組む機運の醸成を図ってまいります。

また、シニアクラブなどへの委託を含めて、フレイル予防を効果的なものとするため、実効性のあるチエック項目の研究や、高齢者の相互支援による仕組み作りについて検討してまいります。



看護小規模多機能型居宅介護について

質問 平成27年度の介護報酬改定において「看護小規模多機能型居宅介護」がスタートしました。

「通い」「泊まり」「訪問看護・リハビリ」「訪問介護」「ケアプラン」のサービスを一体化して、一人ひとりに合わせた柔軟な支援ができるトータルケアをしてください。

この、看護師・介護職員がいる地域密着型の介護事業所は、介護する家族にとっては非常に頼りになる機能となります。

今後の整備・誘致について区長の所見をお聞かせください。

答弁(区長) 「看護小規模多機能型居宅介護」は、地域包括ケアシステムの構築に不可欠な地域密着型サービスの拠点として位置づけています。

そのため、民間事業者の誘致を進めており、令和2年度に1施設開設に向けた協議を行っています。

また、令和3年3月開設予定の「恵比寿二丁目複合施設(仮称)」の整備も併せて、日常生活圏域ごとのバランスを考慮しながら、拡充を計画的に図って行きたいと考えています。

障がい者差別について

質問 「障害者差別解消法」で、自治体は障がいのある人の差別についての相談内容を地域で共有するネットワークとなる「障害者差別解消支援地域協議会」を組織

することができるとしています。

この協議会は、相談事例を抱える関係機関に適切な相談窓口を紹介したり、具体的な対応例の共有や協議を通じて、地域の実情に沿った差別解消の取り組みを効果的に進めることを目的とする、とあります。

協議会の設置に向け区長の考えをお聞かせください。

答弁(区長) 本年3月には、「障害者差別解消支援地域協議会」の設置に向けた勉強会を開催し、区、自立支援協議会、障がい者施設の関係者が集まり、内閣府のアドバイザーから、地域協議会に求められる役割や、他自治体の好事例などを学びました。

今年度は、この勉強会を踏まえ、自立支援協議会とも協議しながら、地域協議会設置に向けた準備を進めてまいります。

防災対策

スマホ充電蓄電池配備について

質問 昨年の北海道胆振東部地震の際、大規模停電、いわゆるブラックアウトが発生いたしました。

また、中国・四国地方の集中豪雨でも大規模な停電が起きました。

先日、大容量の蓄電池を見たのですが、キャスター付で簡単に可搬でき、300台ほどのスマートフォンをフル充電できる容量です。使用しながら付属の太陽光パ

ネルや発電機からの充電も可能で、被災生活には重要な役割を果たすと思われました。

災害時の安否確認や情報収集にスマートフォン等のデバイスは欠かせません。避難所へのスマートフォン等の充電用蓄電池の配備について、区長の所見を伺います。

答弁(区長) 避難所の発電機の更新に合わせて、性能や価格の比較を行いながら、議員ご提案にありますように、携帯電話の充電が可能な大容量蓄電池の配備について、検討をしております。

環境問題

「食品ロス」削減について

質問 今年度開催の「もったいないマーケット」の詳細を教えてください。

また、食品ロス削減推進への思いをお聞かせください。

答弁(区長) 今年度については、「子ども向け講座」や「ワークショップ」、「規格外食品販売」など、事業内容や場所を検討し、食品ロス削減月間である10月に実施する予定です。今後も、年間を通じたフードドライブを実施するとともに、あらゆる機会を捉えて、区民、事業者に対し普及啓発し、食品ロス削減に向けた取り組みを行ってまいります。



渋谷区政へのご意見、ご要望など、なんでもお気軽にご相談ください!!

さわしま 英 隆

渋谷区議会議員 沢島ひでたか

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1

渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036

FAX. 03-5458-4962

寄せられたご相談に全力で対応致します!!

